



クマノミのぼり 生き物紹介



クマノミの仲間たちは、サンゴ礁に暮らしています。イソギンチャクに隠れることで身を守っています。

クマノミのぼりでは、日本で見ることのできる6種類のクマノミたちを紹介しています。それぞれ特徴が違うので、是非見分けてみてくださいね！

ハマクマノミ



オレンジ色の体に白い線が1本あります。
幼魚の時には白い線は2本ありますが、成長するにつれて1本は消滅します。

クマノミ



黒っぽい色の体に白い線が3本あります。
沖縄などの生息密度の高い場所では、尾ビレの色で性別を見分けることができます。メスは淡い黄色や白色で、オスは上下が黄色く縁どられています。(地域によって全体がオレンジ色の個体もいます)

カクレクマノミ



映画「ファインディング・ニモ」のモデルに近い種です。
オレンジ色の体に白い線が3本あるのが特徴です。
体の大きいメスは、イソギンチャクから離れることもあります。

トウアカクマノミ



頭が赤いことから名前が付いたと考えられています。
上から見ると二本目の白い模様がハート形に見えるのも特徴です。
分布域が狭く、6種類の中では生息数が最も少ない種類です。

ハナビラクマノミ



背中と顔の横に白いラインがあります。
イソギンチャクから離れて餌を食べることもあります。繁殖期間中は近くにやってくるダイバーに威嚇することもあります。

セジロクマノミ



背中に1本白い線があるのが特徴です。
地域によってベージュ色やオレンジ色など色彩のバリエーションが見られます。